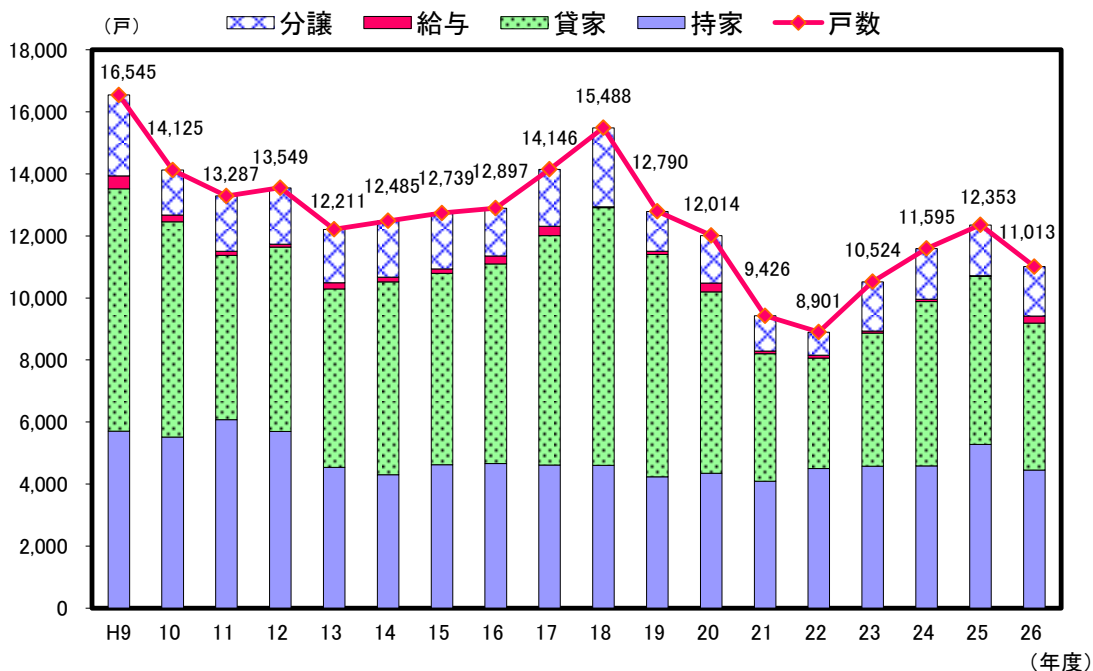


熊本県の新設住宅着工戸数の推移



解 説

【概要】

平成22年の県内住宅に住む一般世帯数は679,414世帯で、前回調査時の平成17年から23,268世帯(3.5%)増加した。うち持ち家の割合は63.9%で前回から0.8ポイント減少したが、全国順位は36位と変わらなかった。

新設住宅着工戸数は、平成18年度の15,488戸以降減少傾向となり、平成22年度には8,901戸まで落ち込んだが、その後増加に転じ、平成25年度は、消費税増税前の駆け込み需要もあり12,353戸となった。

平成26年度は、前年度の反動もあり11,013戸に減少した。

○住宅

一戸建てや、アパートのように、一つの世帯が独立して家庭生活を営むことができる建物。

○持ち家

そこに住んでいる世帯が所有している住宅。

○持ち家世帯の比率

持ち家に住む一般世帯数÷住宅に住む一般世帯数×100

○一戸建ての持ち家世帯の比率

一戸建ての持ち家に住む一般世帯数÷住宅に住む一般世帯数×100

○新設住宅着工戸数

建築工事届によって把握された着工工事を経て建築された住宅のうち、新築・増築又は改築等によって新たに造られた住宅の戸数。

○給与住宅

勤務先の会社・官公庁・団体などの所有又は管理する住宅に職務の都合上又は給与の一部として居住している住宅。

資料出所	調査期日	調査周期
*1、*2、*3「国勢調査」 総務省統計局	平成22年10月1日	5年
*4「建築着工統計調査」 国土交通省	平成26年度	毎年